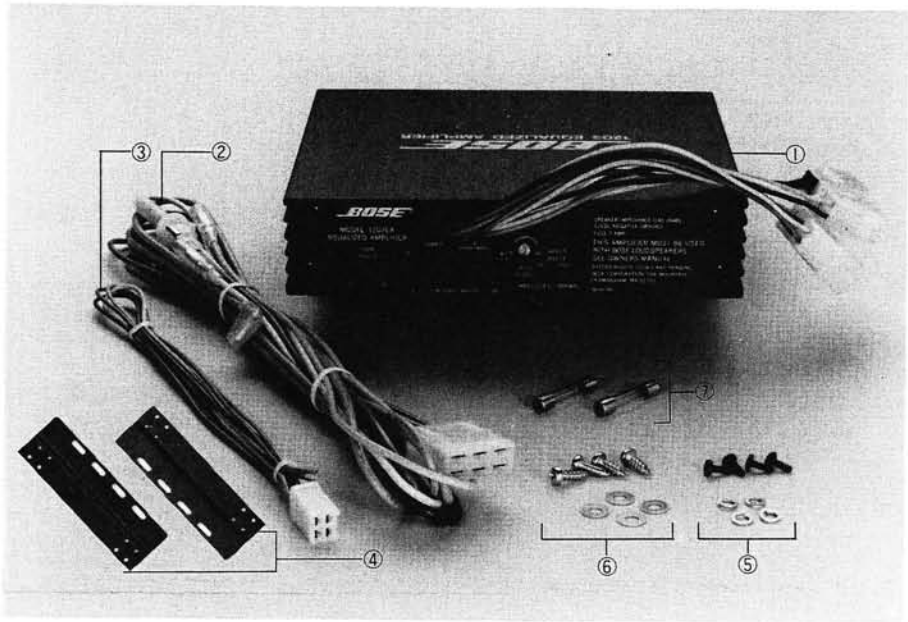
開梱時の注意

1203は納入時は3個のパックに分納されています。もし、開梱時に損傷、部品の不足等がございましたら、ただちに取扱店に連絡してください。(そのままの状態では絶対に使用しないでください)。

内容および名称



①イコライザーアンプ　1台
②電源コード　1本
③ハイ入力コード　1本
④アンプ取付金具板　2枚
⑤アンプ取付金具板用ネジ　4本
⑥アンプ取付用ネジ　4本
⑦電源コード用補助ヒューズ　2本

※RCAショートピン2個付属しています。(システム結線図参照)

各部の名称

①トーンセレクトスイッチ
膨大なデータより得た代表的な音響特性を2種類内蔵しています。取付車種に応じて適当なポジションを選択してください(出荷時は"B"にセットしてあります)。

②ローレベル入力端子
ヘッドユニットの出力を接続します(入力感度100~750mV)。

③入力感度調整ボリューム
接続機器とのレベル合わせを行います(出荷時にはセンターにセットしてあります)。

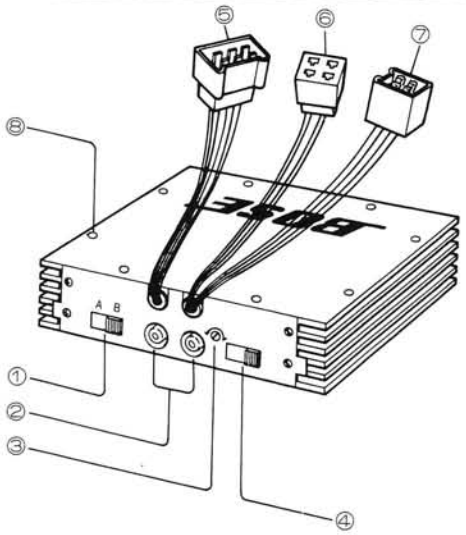
④入力切り換えスイッチ
NORMALとUNBALANCEDの切り換えスイッチです。接続する機種に応じてノイズの少ない側にセットします(出荷時はUNBALANCEDに合わせてあります)。

⑤電源コネクター(6ピン)
本機の電源系のコネクターです。

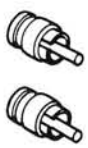
⑥スピーカー出力端子(4ピン)

⑦ハイレベル入力端子(4ピン)
本機をパワーブースターとして使用する場合にパワーアンプからの出力をつなぎます。入力感度は1~7.5V(4Ω定格出力時:0.25~14W)です。

⑧取付け用ビス穴



RCAショートピンについて



イコライザーアンプをパワーブースターとしてご使用になる場合ノイズ防止のため、付属のRCAショートピン(2個)をイコライザーアンプのローレベル入力端子(LOW LEVEL INPUTS)に必ず挿し込んでください。

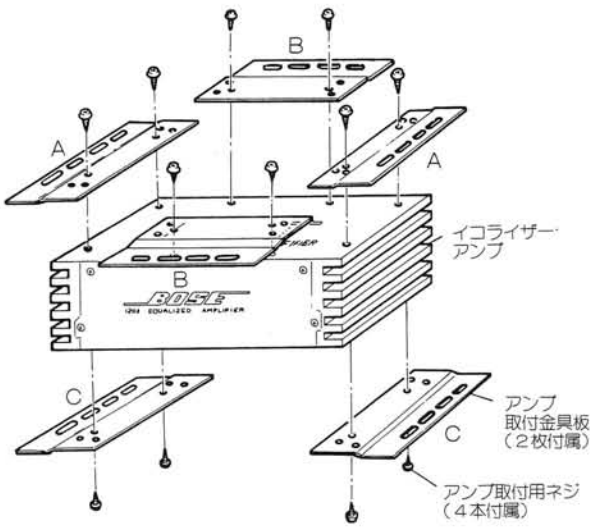
取付けおよび配線

■作業手順

●実際の取付け作業にかかる前に仮結線を行い、システムが正しく作動するか確認します。

1．作業の前に、これから接続する機器の電源は全て切ります。
2．アンプ及びスピーカーの取付け位置を決め、その近くに仮置きします。
3．各機器間を仮結線し、機器の電源を入れます(ヘッドユニットのボリュームは最少にしておきます)。➡システム結線図参照
4．ヘッドユニットのボリュームを上げ、音出し調整を行ってください。
5．各機器の電源を切り、配線を外します。

●イコライザーアンプの取付けを行います。



イコライザーアンプはカーステレオアンプと同じ要領で取付けてください。取付け場所によって左図のように3通り(A、B、C)の取付けができます。
イコライザーアンプは殆んど発熱しませんのでダッシュボード内やシートの下に取付け可能です。
ただし、直射日光の当たる場所、ヒーターの吹き出し口等はさけてください。

アンプ取付け金具板2枚とアンプ取付け用ネジ4本で吊下げ、据置き等、自由に設置できます。

システムの結線

■配線上の注意事項

信号系

●左右のチャンネルを間違えないようにしてください。
●電子機器はできるだけ避けて配線してください。

電源系

●ノイズ対策として、アース線(黒)は他の機器のアース線と共に、最寄りのボディーアース・ポイントに落として(一点アース)ください。
●メイン電源コード(赤)＝バッテリーの⊕端子かACC電源につないでください。ノイズが乗る場合は、途中に十分な容量をもつノイズフィルターを接続します。
●紫色の線(スイッチセンサーコード)＝イコライザーアンプをON.OFFする為の感知機構であり、このコードからはイコライザーアンプへの給電は行われません。この線に10～12Vが加わっている間だけイコライザーアンプがONになります。実際にはヘッドユニットのスイッチドアウト、パワーアンテナの⊕線、ACC電源等に接続します。

メイン電源コードをバッテリーの⊕端子に直接つないでいる場合、この線を常時+12Vが来ている端子につなぐとイコライザーアンプの電源が切れなくなり、バッテリーが上がりますので注意してください。

●黄色の線＝紫線と同様のスイッチセンサーコードですが、こちらは電流感知式であり、+12Vがかかっており、100mA以上の電流を消費してやるとイコライザーアンプがONになります。紫線ではどうしてもイコライザーアンプをON-OFFできないときに使用してください。その他の時は、ショートしないように端末を処理し、遊ばせておいてください。

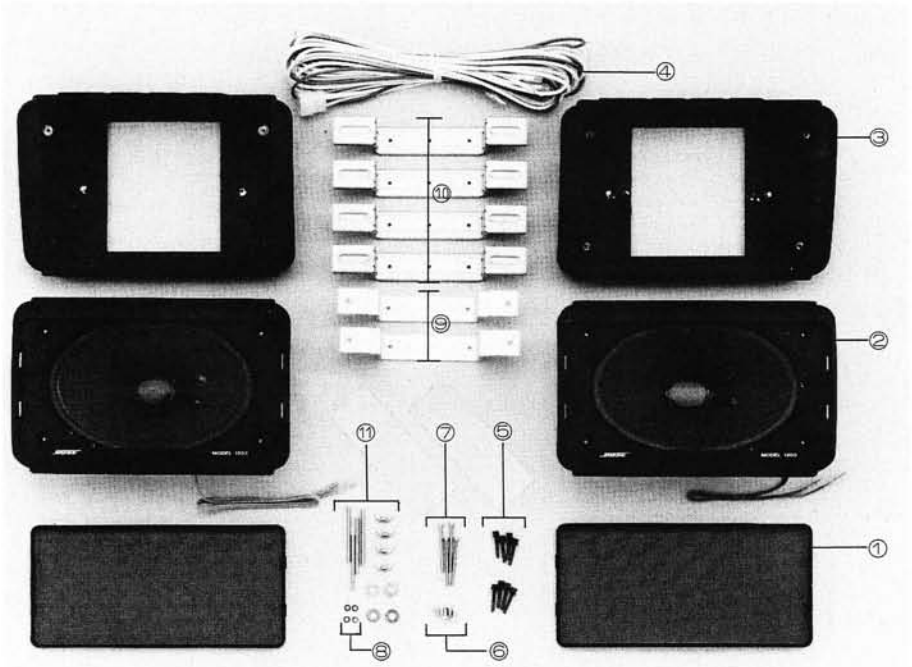
メモリーバックアップ用の電源としては絶対に使用しないでください。イコライザーアンプの電源が切れなくなる場合があります。

●橙色の線＝メモリーバックアップ用(B+)電源です。
●茶色の線＝ヘッドユニットのシャーシあるいはアース線同様にボディーアース・ポイントに落としてください。

開梱時の注意

1203は納入時は4個のパックに分納されています。もし、開梱時に損傷、部品の不足等がございましたら、ただちに取扱店に連絡してください。(そのままの状態では絶対に使用しないでください)。

内容および名称

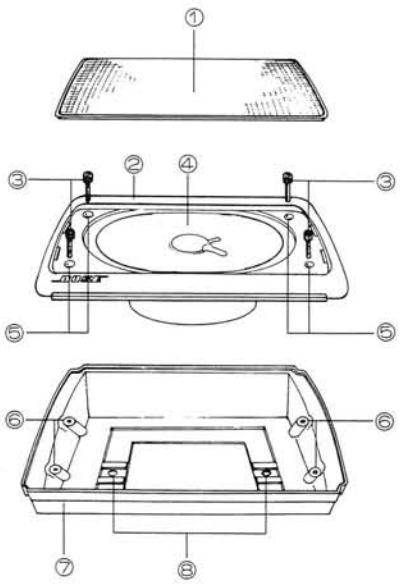


①グリル	2枚
②フロントパネル(6×9インチスピーカーユニット付)	2個
③リアボックス	2個
④スピーカーコード	2本
⑤フランジボルト	8本
⑥バインドネジ(短)	4本
⑦バインドネジ(長)	4本
⑧バインドネジ用平ワッシャー	4枚
⑨取付金具A	2枚
⑩取付金具B	4枚
⑪ボルト	4本
ボルト用平ワッシャー	4枚
チョウナット	4個

※テンプレート(L、R1セット)は、スピーカー取付け位置の確認と、取付け穴を切る時にお使いください。
※フランジボルト用六角レンチが付属されています。

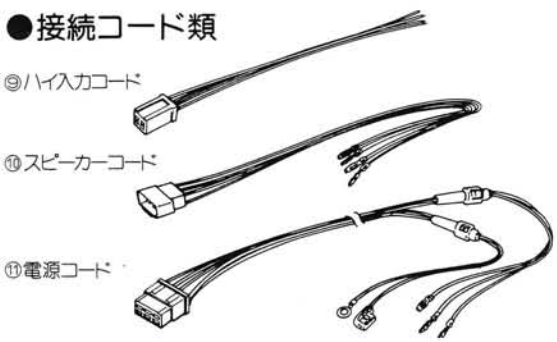
各部の名称

＊1203のスピーカーキャビネットは、フロントパネルとリアボックスが4本の輸送用ネジで仮止めされています。取付け作業の前にこのネジを外してください(取付けには使用しません)。



①グリル
②フロントパネル
③フランジボルト
④6×9インチ・スピーカーユニット
⑤フランジボルト穴
⑥フランジボルト用埋込みナット
⑦リアボックス
⑧バインドネジ用埋込みナット

●接続コード類



取付けおよび配線

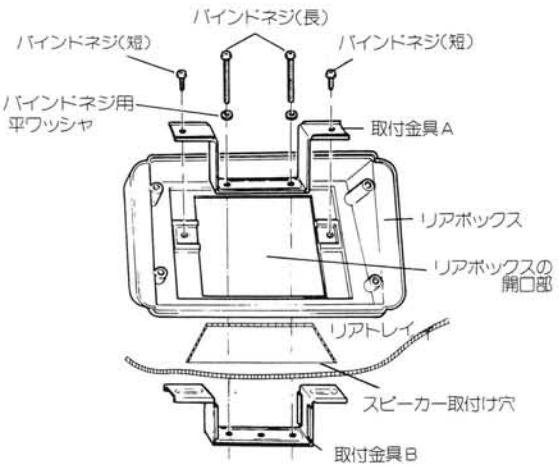
■作業手順

●実際の取付け作業にかかる前に仮結線を行い、システムが正しく作動するか確認します。

1．作業の前に、これから接続する機器の電源は全て切ります。
2．アンプ及びスピーカーの取付け位置を決め、その近くに仮置きします。
3．各機器間を仮結線し、機器の電源を入れます(ヘッドユニットのボリュームは最少にしておきます)。➡システム結線図参照
4．ヘッドユニットのボリュームを上げ、音出し調整を行ってください。
5．各機器の電源を切り、配線を外します。

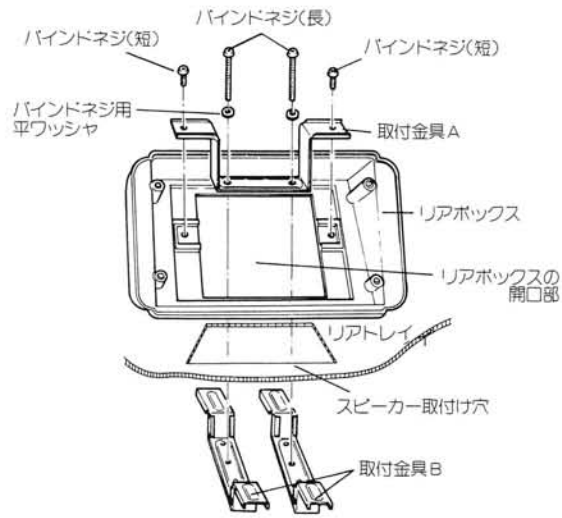
●スピーカーの取付けを行います。

1．付属のテンプレートを利用して、リアトレイにスピーカー取付け穴(122〈W〉×137〈D〉㎜)を開けます。既存の穴が前記寸法より大きい場合、また取付面の強度が不足しているような場合は、補強板(市販の合板等)を当ててください。
2．スピーカーのリアボックスを穴に取付けます。 1203 のリアボックスは３通りの取付け方ができます。リアトレイの構造に合わせて適当な取付け方法を選択してください。下図参照
3．取付けの終わったリアボックスに、フロントパネル(スピーカーユニット付き)、フロントグリルの順につけていきます。次頁図参照



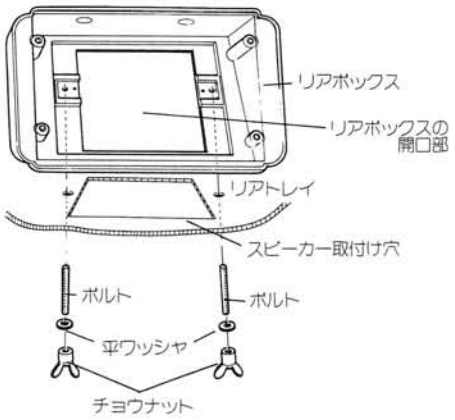
1．車内から取付ける場合(その１)

①付属のテンプレートをリアトレイにあて、スピーカーの取付け位置を決めます。
②取付け位置が決ったら、スピーカー取付け穴を開けます。
③バインドネジ(短)２本で取付け金具Ａをリアボックスの取付け位置に固定します。
④リアボックスをリアトレイ取付け穴の上に置き、取付け穴を通して取付け金具Ｂをリアトレイの下に入れます。
⑤取付け金具ＡとＢを、バインドネジ(長)および平ワッシャで仮止めします。
⑥バインドネジ(長)を締め付けます。
※スピーカー取付け穴のサイズはリアボックスの開口部と同寸です。



2．車内から取付ける場合(その２)

車内から取付ける場合(その１)の方法では、リアトレイの下に障害物があって取付けられない場合、この取付け方法で取付けてください。取付け手順は(その１)と同様に取付け金具ＡとＢでリアトレイを狭み込んでネジ止めします。



3．トランク側から取付ける場合

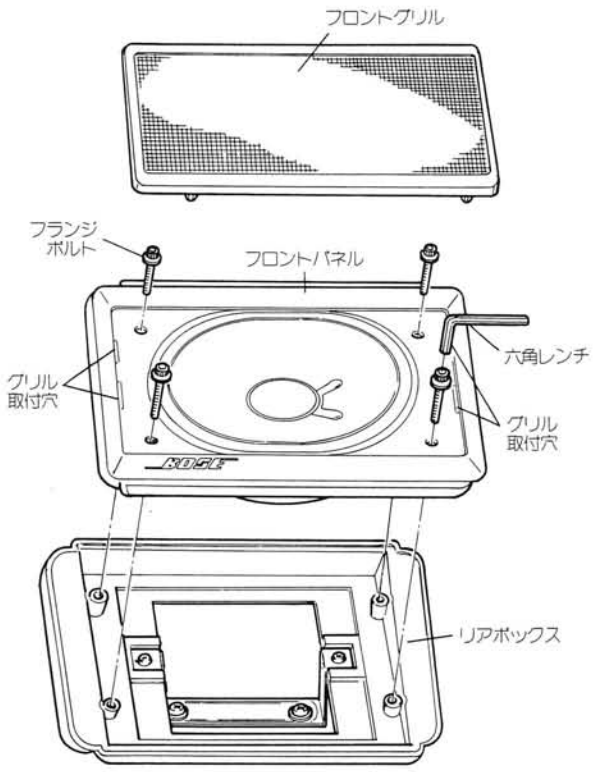
①付属のテンプレートをリアトレイにあて、スピーカーの取付け位置を決めます。

②取付け位置が決まったら、スピーカー取付け穴と、6～7㎜φのボルト用の丸穴2個を開けます(図参照)。

③リアボックスにボルト2本を取付けます。

④リアボックスをリアトレイの穴に合わせて置き、トランク側からチョウナットと平ワッシャをボルトに取付け、締め付けます。

●リアボックスにスピーカーユニット、フロントグリルを取付けます。



①スピーカーユニットのリード線をリアトレイの穴に通し、イコライザーアンプからのリード線と接続します(同色のワイヤーを接続します)。

②ここで一度電源を入れ、音出しテストを行ってください。

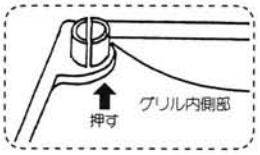
③フロントパネル部をリアボックスに乗せ、フランジボルト4本で取付けます。
フランジボルトは、初め指先でつまんで廻し、六角レンチで締め付けます。

④フロントグリル左右のツメを、フロントパネルのグリル取付け穴に差し込むようにして押し込み、取付け完了です。

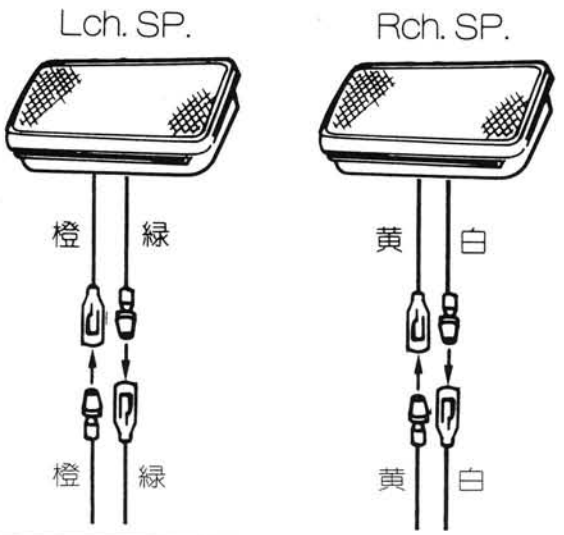
※フロントグリルは、凹みやすいので取扱いには十分ご注意ください。

※フロントグリルを取外す時は、周囲のミゾにドライバーなどを入れ、軽く持ち上げれば外れます。

※グリルがフロントパネルに取付けづらい時は、右図のグリルの足のベース部分を外側に少し広げてから再度はめ込んでください。



システムの結線



●必ず付属のスピーカーコードを使用してください。もし長さが足りないときは、これと同等かそれ以上の太さのものを使用してください。
●コードを継ぎ足す場合は、必ず半田付けをし、完全に絶縁してください。
●1203-EAをパワーブースターとして使用する場合には、使用するアンプのスピーカーコードの端をハイ入力コードにつなぐ作業がありますが、その際、極性を間違えないよう十分注意してください。

正しくお使いいただくために

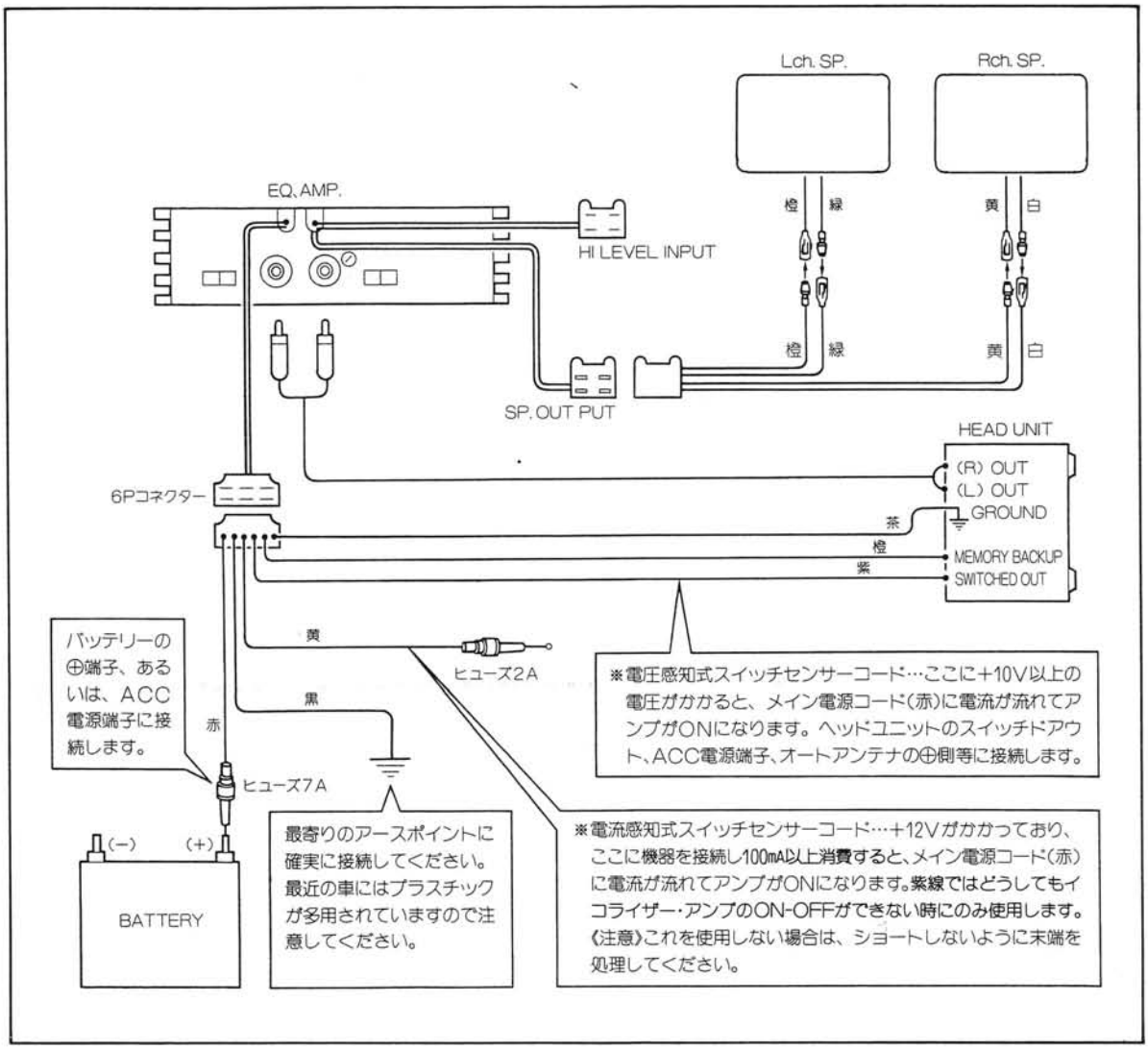
●取付け場所について
1203のイコライザーアンプはほとんど発熱しませんので、車室内のどこにでも設置できます。ただし直射日光が当たる場所には置かないでください。

●電源電圧について
供給電圧が低くなると、ノイズが発生したり、不安定動作をすることがあります。このような場合には電気系統が正常かどうかチェックしてください。

●アンプとスピーカーはセットで
1203システムのスピーカーのインピーダンス及びイコライザーアンプの出力インピーダンスは0.45Ωです。指定機種との組合せ以外に生じた故障等に対しては、ボーズではいっさい責任を負いませんのでご注意ください。

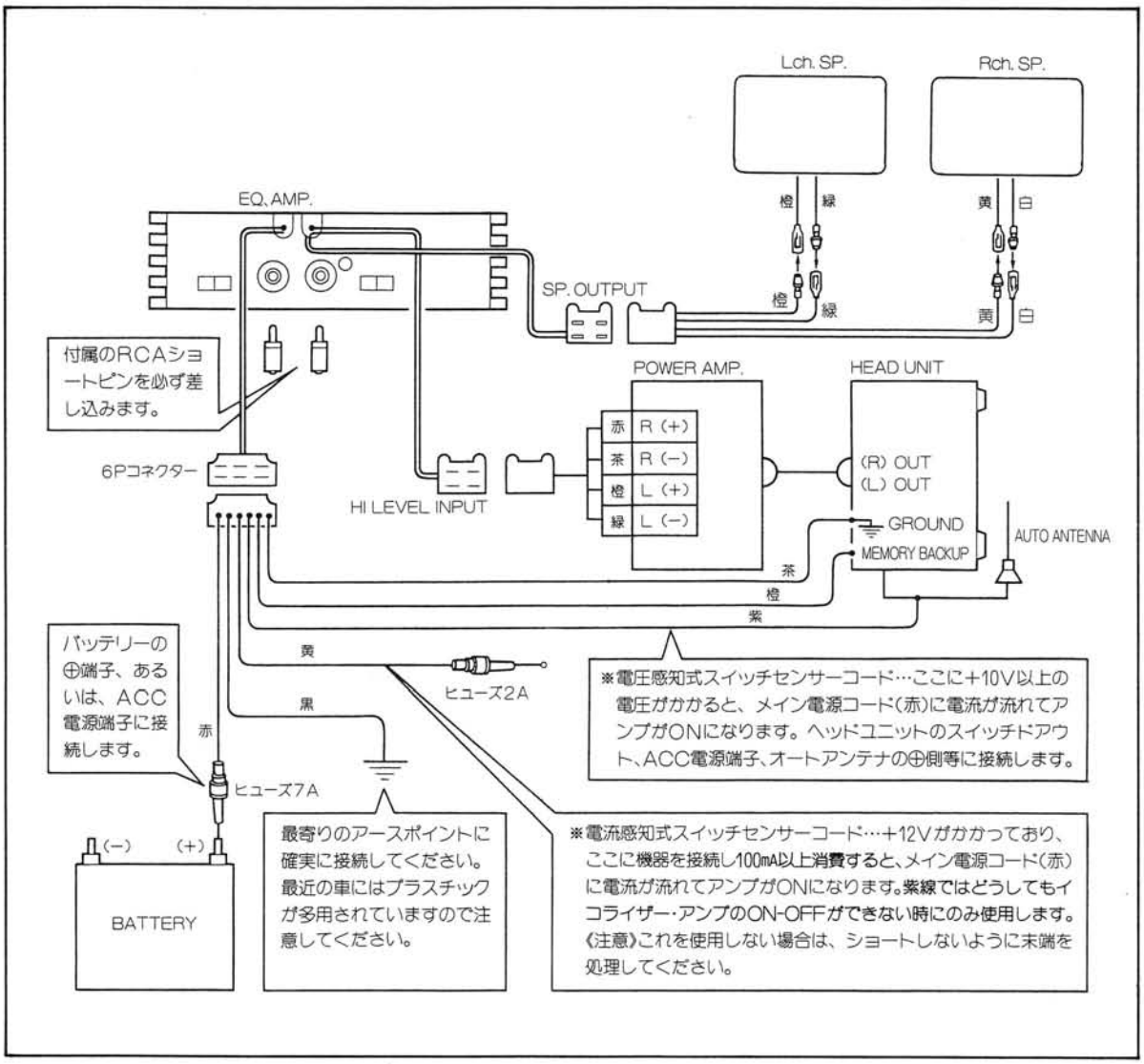
●スピーカーキャビネットの手入れについて
汚れやほこりは、乾いた柔らかい布でふきとってください。シンナーやベンジン等の揮発性の薬品や化学雑巾、ガラスクリーナーなどはキャビネットの表面をいためますので使用しないでください。

1. パワーアンプとして使用する場合の接続例



※印のコードの接続方法については『配線上の注意事項』に詳しく説明させて載いておりますので、必ずお読みください。

2. パワーブースターとして使用する場合の接続例



※スイッチセンサーコードの接続を間違えると、イコライザーアンプの電源が入らなかったり、逆に切れなくなる場合がありますので注意してください。

正しくお使いいただくために

●取付け場所について

1203のイコライザーアンプはほとんど発熱しませんので、車室内のどこにでも設置できます。ただし直射日光が当たる場所には置かないでください。

●電源電圧について

供給電圧が低くなると、ノイズが発生したり、不安定動作をすることがあります。このような場合には電気系統が正常かどうかチェックしてください。

●アンプとスピーカーはセットで

1203システムのスピーカーのインピーダンス及びイコライザーアンプの出力インピーダンスは0.45Ωです。指定機種との組み合わせ以外に生じた故障等に対しては、ボーズではいっさい責任を負いませんのでご注意ください。

●スピーカーキャビネットの手入れについて

汚れやほこりは、乾いた柔らかい布でふきとってください。シンナーやベンジン等の揮発性の薬品や化学雑巾、ガラスクリーナーなどは使用しないでください。